

# バンノークラッチ問い合わせ用紙 <sup>1</sup>/<sub>2</sub>

貴社名	TEL
貴 名	FAX
所在地 〒	E-mail

クラッチの用途又はクラッチを取り付ける機器装置の名称

(打合せの際に提出する図面や書類に記入させて頂く為で、略号でも結構です)

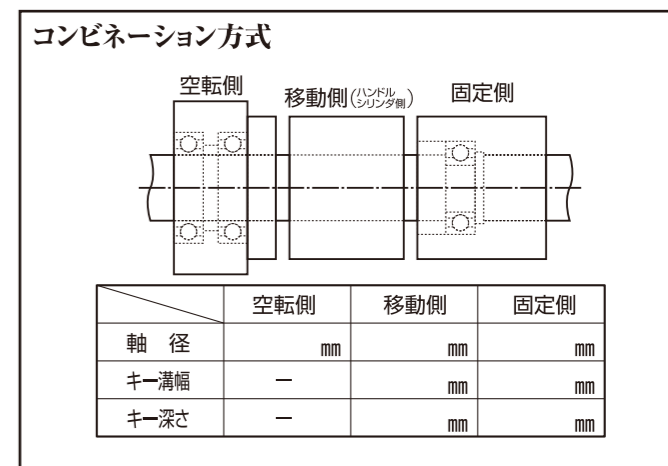
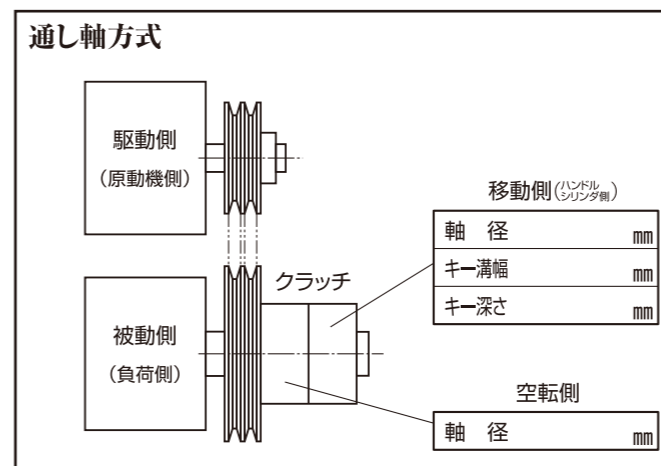
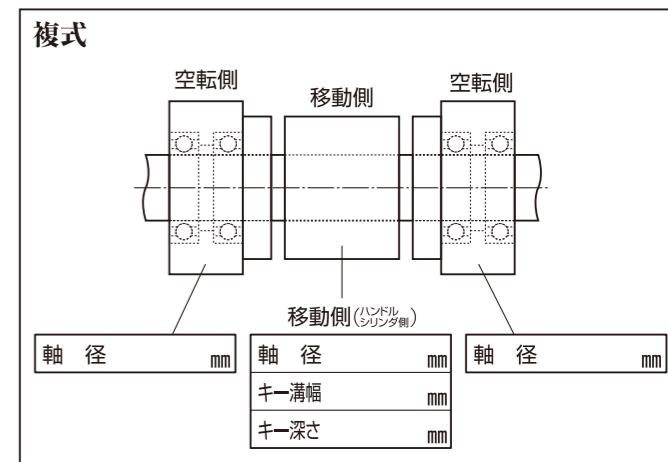
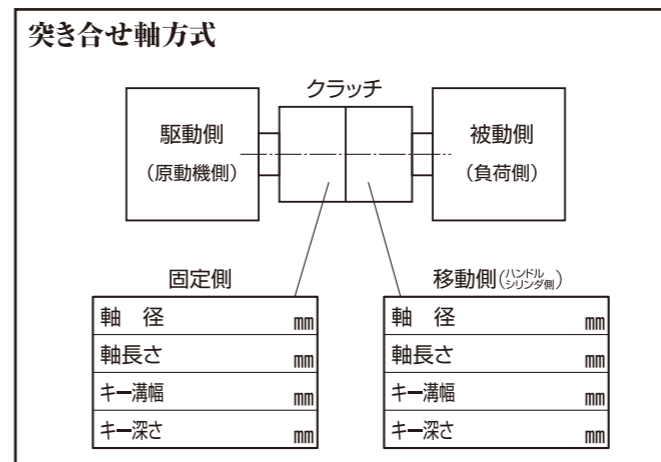
この頁と次頁をコピーして、該当項目の  枠内に  印を、  長枠内に必要事項を記入し、不明、未決定の箇所は空欄のままでFAX、又は郵送して下さい。又、参考になる図面、スケッチ等がございましたら一緒にお送り下さい。

(この用紙は、弊社のホームページにも掲載しています)

- クラッチは駆動側と被動側を単に接続 (ON) と切り離し (OFF) をするために使用する。
- 起動時に徐々に回転をあげるため (クッションスタート) に使用する。起動時間 約  秒
- 駆動時 (回転中) にスリップさせるために使用する。(具体的にお示し下さい)
- 高速、低速回転の切り替えに使用する。
- 正、逆回転の切り替えに使用する。
- 動力源は  モータ  単気筒エンジン  多気筒エンジン  その他 (具体的にお示し下さい)
- 原動側の慣性は  普通、特に大きくない。  非常に大きい。(具体的にお示し下さい)
- 負荷の慣性は  普通、特に大きくない。  非常に大きい。(具体的にお示し下さい)
- 負荷の衝撃は  普通、特に大きくない。  非常に大きい。(具体的にお示し下さい)
- クラッチを接続するのは  停止中、負荷がかからない状態で。  回転中、負荷がかからない状態で。  回転中、負荷をかけた状態で。
- クラッチを切り離すのは  停止中、負荷をかけない状態で。  停止中、負荷をかけた状態で。  回転中、負荷をかけない状態で。  回転中、負荷をかけた状態で。
- クラッチの特別作動条件  クラッチは、円周上の同一点で接続すること (ワンポジション)  駆動中は絶対にスリップしてはいけない。  クラッチを切り離した後、残留トルク (空転トルク) は不可。
- クラッチの使用頻度。(おおよその操作回数を記入して下さい) 1時間に  回位
- クラッチは乾式、空気中で使用する。
- クラッチは湿式、油槽の中で使用する。
- クラッチは屋外で使用、但しカバーを付ける。
- クラッチは屋外で使用、但しカバーは付けない。
- クラッチを特殊な環境、雰囲気で使用。例…40℃以上の高温、極低温、高温、塵埃が多い、水滴がかかる、油滴がかかる状態、引火性、爆発物の近くで使用する等、具体的にお示し下さい。
- クラッチ軸が水平でない。(縦位置又は斜め)
- クラッチを、人身人命に関係する用途に使用する。(具体的にお示し下さい)
- クラッチを組み込み後、補修、メンテナンスのできない箇所に使用する。
- クラッチを、ベースに取り付けたユニット形が必要。
- クラッチはボックスに入ったものが必要。
- クラッチに伝動部品 (スプロケット、プーリ、カップリング等) を取り付けて欲しい。(具体的にお示し下さい)

# バンノークラッチ問い合わせ用紙 <sup>2</sup>/<sub>2</sub>

- クラッチの軸穴径、キー溝寸法を記入して下さい。軸径が未定の場合は、大約の予定寸法でも結構です。  
キー溝寸法のご指示が無い場合は、P126 の寸法表 (新JIS準拠) で加工します。



- クラッチの操作は  手動  空圧  その他 (具体的にお示し下さい)
  - クラッチの伝達する動力  kW 又は  PS
  - クラッチのトルク  N・m 又は  kgf・m
  - クラッチ軸の回転数 通常  rpm 最大  rpm
  - クラッチの種類のご指定、または  摩擦クラッチ  通常のカミアイクラッチ  
ご希望があれば記入して下さい。  ワンポジション カミアイクラッチ (1回転中一定の位置でかみ合うクラッチ)  その他 (具体的にお示し下さい)
  - 貴社で選定し、採用を予定している機種形番があれば記入して下さい。
  - 詳しい説明を聞きたいので、連絡をとってほしい。
  - 価格が知りたい。
  - 納期が知りたい。
  - 購入の打合せをしたいので、連絡をとってほしい。
  - 計画用の図面がほしい。
  - 承認用の図面がほしい。
  - ご指定の取扱い商社名をご記入下さい。
- |     |    |
|-----|----|
| 社名  |    |
| TEL | 担当 |